

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合

〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号

TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290

発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## 【虚構からの訣別を図るべき時期に到達したJR東日本！ シリーズ7】 小説・労働組合の一つの読み方、党中央は福原・嶋田側！？その

革マル派は、当初、九州労委員長北弘人を黒幕とする「4人組の犯罪」と主張した。同事件に関する革マル派の第一声（「政治組織局」声明文書）は次のようであった。

「JR九州労4人組によるクーデタを打ち砕け！」 <2000年10月7日>

【JR連合（いわゆる「養殖組合」）の声明によれば、JR九州労4人組 小椿次郎（福岡地本委員長）、谷川常水（鹿児島地本委員長）、内川聖司（熊本地本委員長）、一万田秀明（大分地本書記長）が、JR九州労組本部に赴き、JR九州労（北弘人委員長）組合員652名のJR九州労からの脱退届およびJR九州労組（安井俊幸委員長）への加入申込書を手渡したという。これは明らかにこの4人組によるJR総連傘下九州労に対する組合組織破壊のための上からのクーデタにほかならない。

この事態は、9月20日から10月7日に至るあいだ雲隠れをしていた北委員長が黒幕として暗躍し、JR九州労の組合組織をまるごとJR連合に売り渡すという前代未聞の陰謀をめぐらしたことの、ひとつの露呈にほかならない。 - 中略 -

4人組は言う JR東労組会長は組合組織運営において「独善的」である、と。これはみずからのクーデタを正当化するためのいいがかりにすぎない。組合運動の組織化と組合組織の強化に情熱を失い、「養殖組合」の第五列と化した人非人であるからこそ、こうした言辞を吐きうるのだ。この言辞は、『動労史』に描かれている動労型労働運動を全面的に否定するためのものであって、彼らはこの『動労史』を“位牌”たらしめているというべきなのである】

この党中央最高組織機関文書を受けて「革マル派九州地方委員会」も次の内容の声明文書を発表した。

「4人組の策略は茶番に終わった！」 <2000年10月9日>

【「JR総連の運動方針を会社当局への『対決型』などとなじり、JR東労組会長に対して『独善的組織運営、引き回し』という中傷をあえてした裏切り者4人組...」「4人組および北委員長の犯罪行為弾劾する闘いを組織し、彼らにとってかわるべき戦闘的な執行部を直ちに組織せよ」「...直ちに脱退届を撤回し、職場組織に復帰せよ】

ところが、いわゆる「坂入事件」の発生（2000年11月3日）を経て、党革マル派の公式見解は、「7人組の犯罪」に変更され、小椿、谷川、内川、一万田の「九州労4人組」は“A級戦犯”の座から外された。

《国鉄改革の完成に向けて（宗形明著）199ページ～200ページより抜粋》

「東日本タイムズ号外」は、役員・組合員から寄せられた意見を基に、今号から「ユニオン・EYE」にタイトル名を変えました。なお、号数は通算しますので、今後ともよろしく願います 【教育広報部】